

「令和5(2023)年度栃木県児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について

栃木県教育委員会

1 調査概要

(1) 目的

県内小・中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒を対象に、新体力テスト及び身体計測を実施し、児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料を得る。

(2) 主催

栃木県教育委員会

(3) 対象

県内全ての公立小・中学校、義務教育学校及び県立高等学校（全日制・定時制）を調査した。

【標本数】

	小学校	中学校	高等学校		計
			全日制	定時制	
児童 生徒数	90,341 人	45,749 人	32,024 人	900 人	169,014 人
	男子：46,329 人	男子：23,704 人	男子：16,312 人	男子：506 人	男子：86,851 人
	女子：44,012 人	女子：22,045 人	女子：15,712 人	女子：394 人	女子：82,163 人

(4) 実施期間

令和5(2023)年4～7月

(5) 内容

スポーツ庁「新体力テスト実施要項」により新体力テストを実施した。なお、中学・高等学校で選択種目となる持久走と20mシャトルランは、後者のみを対象とした。

○実技に関する調査

【小学校8種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

【中学校8種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、
立ち幅とび、ハンドボール投げ

※ これらの8種目を、それぞれ定められた基準により10点満点で評価した得点の合計を「体力合計点」とする。(80点満点であり、性別・学校種別で基準が異なる。)

○質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関するもの）

2 結果概要

(1) 平成 29(2017)年～令和 5(2023)年度)における体力合計点の推移

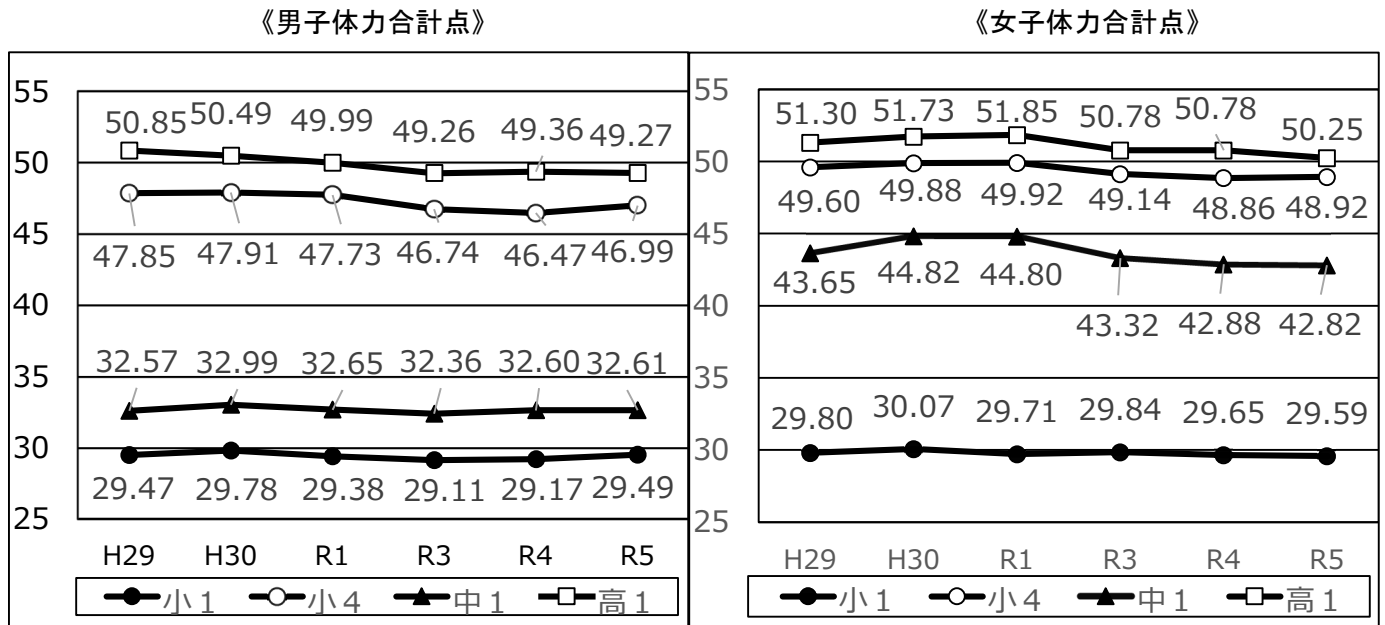


図1 調査における新体力テスト体力合計点の推移 ※H29より悉皆調査実施、R2は新型コロナウイルス感染症の影響で調査中止

- 男女とも、令和4(2022)年度から比較すると低下が見られる年代があるものの、近年はほぼ横ばいの傾向である。

(2) 調査10年間(平成25(2013)年～令和5(2023)年度)における令和5(2023)年度の傾向

表1 調査10年間(平成25(2013)年～令和5(2023)年度)の平均値と令和5(2023)年度の比較

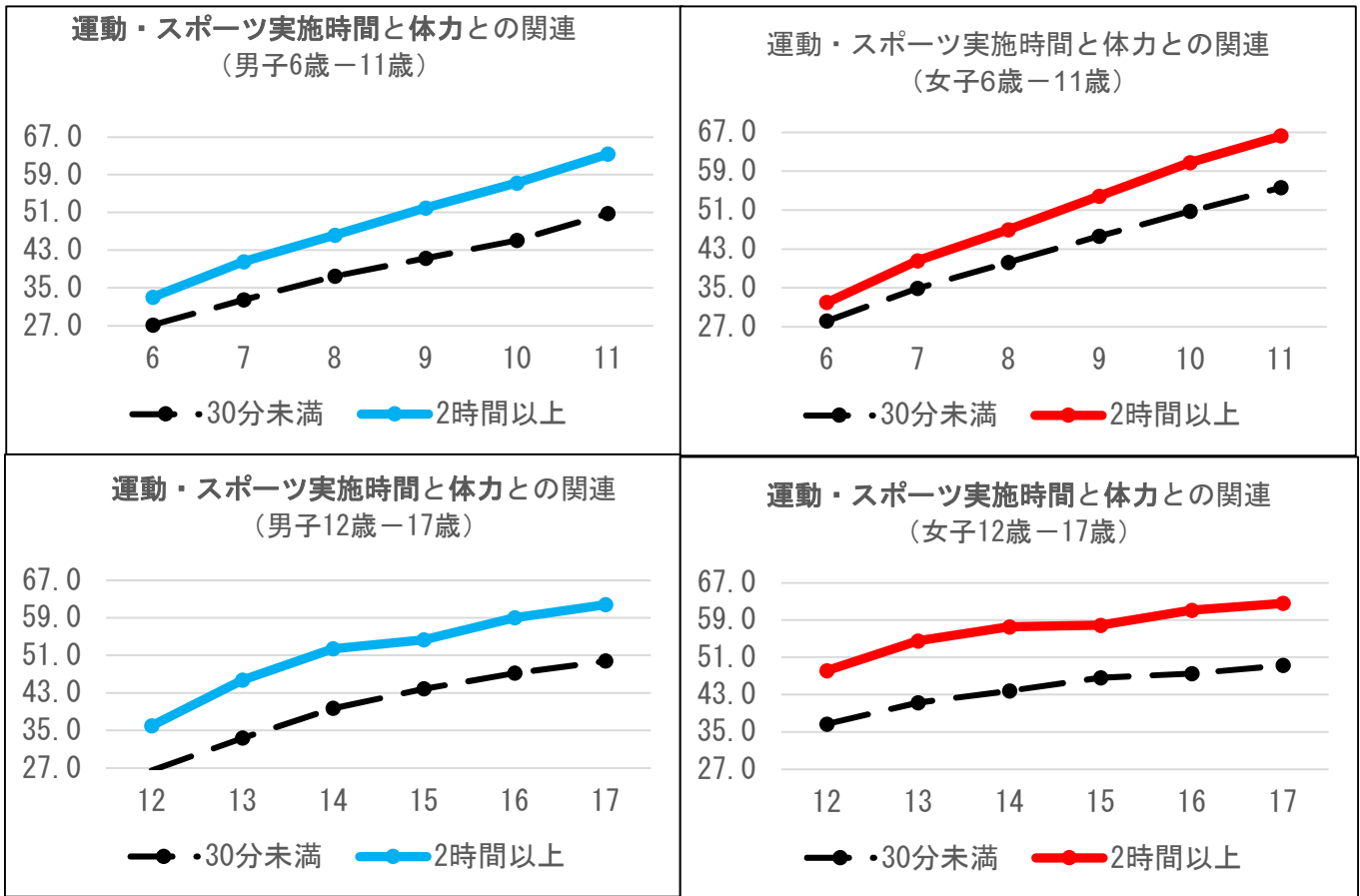
性別	種目	小学校						中学校			高等学校(全日制)			高等学校(定時制)			
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高4
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	15歳	16歳	17歳	18歳
男子	握力							○	○								
	上体起こし																
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○	
	反復横とび								○						○	○	○
	20mシャトルラン															○	
	50m走								○	○	○		○				
	立ち幅とび	○	○		○		○	○	○	○		○	○				
	ボール投げ								○	○							
体力合計点	○							○									
女子	握力					○											
	上体起こし																
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	反復横とび												○	○			
	20mシャトルラン																
	50m走																
	立ち幅とび	○						○	○				○				
	ボール投げ																
体力合計点																	

○ …過去10年間の平均値を今年度の平均値が上回った種目

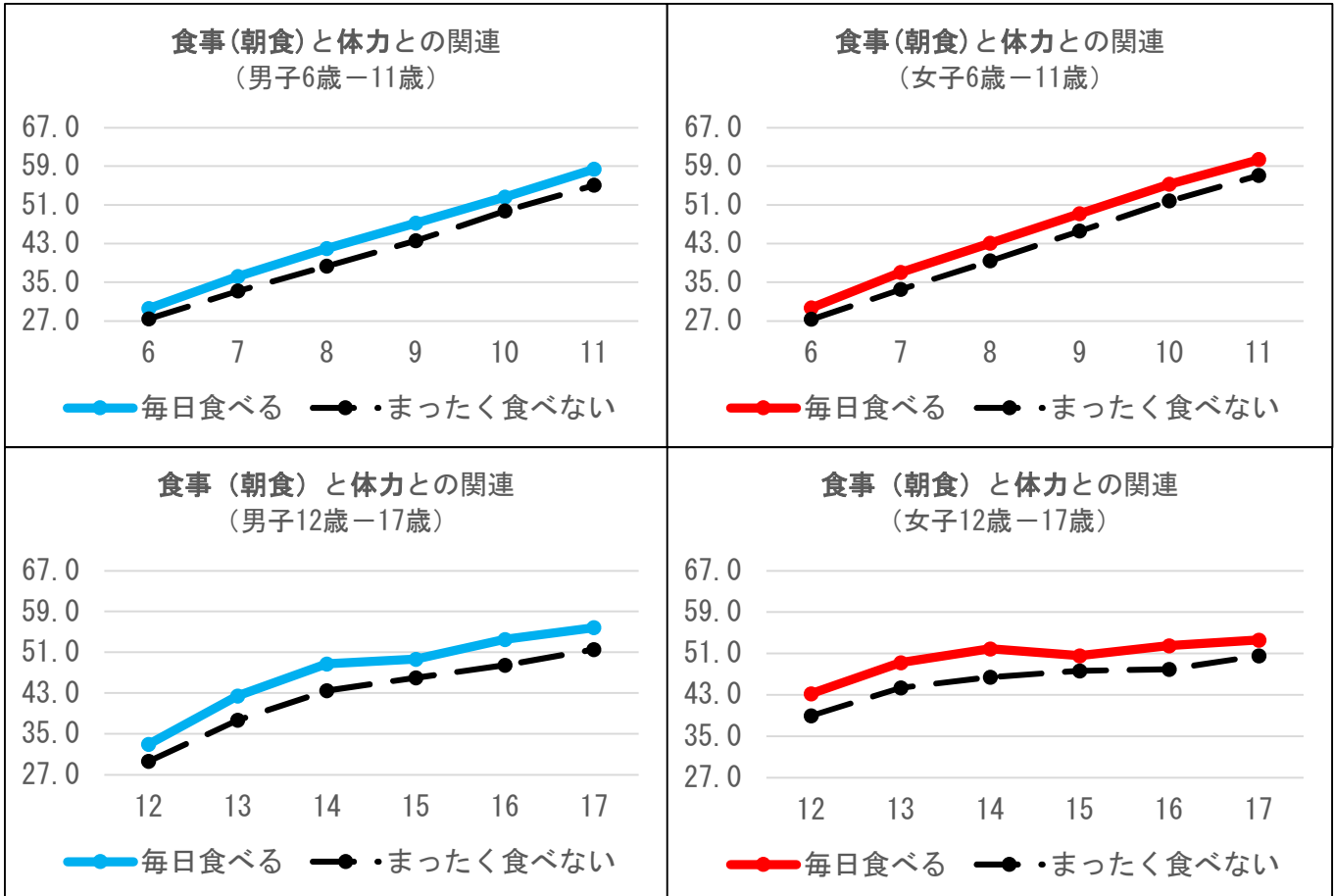
- 男子は、長座体前屈、立ち幅とびにおいて、過去の平均値を上回った学年が多くあった。年代別では、中学2年生が多くの種目で上回った。
- 女子は、長座体前屈において、過去の平均値を上回った学年が多くあった。

(3) アンケート調査と体力合計点の関連表

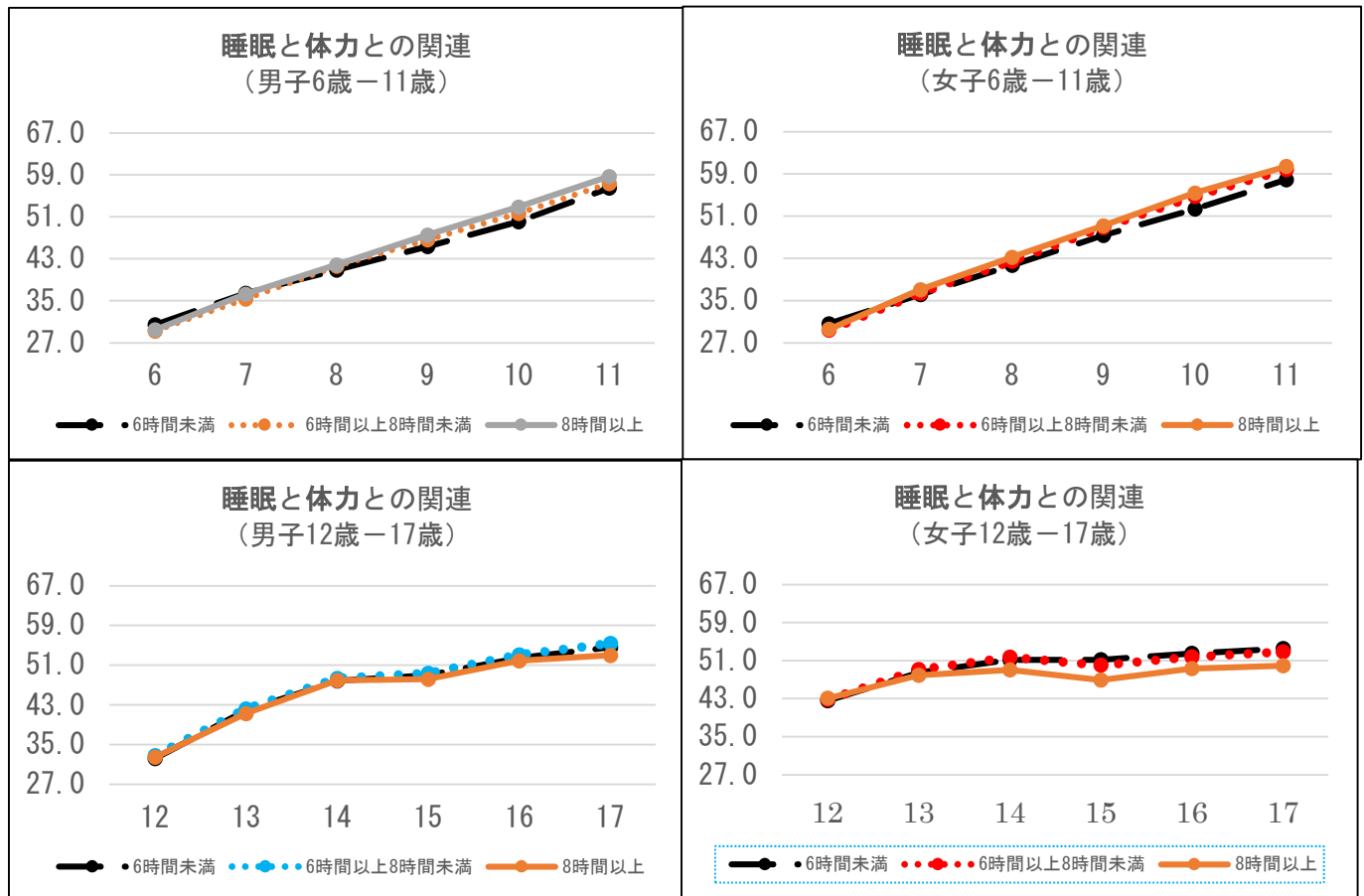
ア 運動・スポーツ実施時間と体力との関連



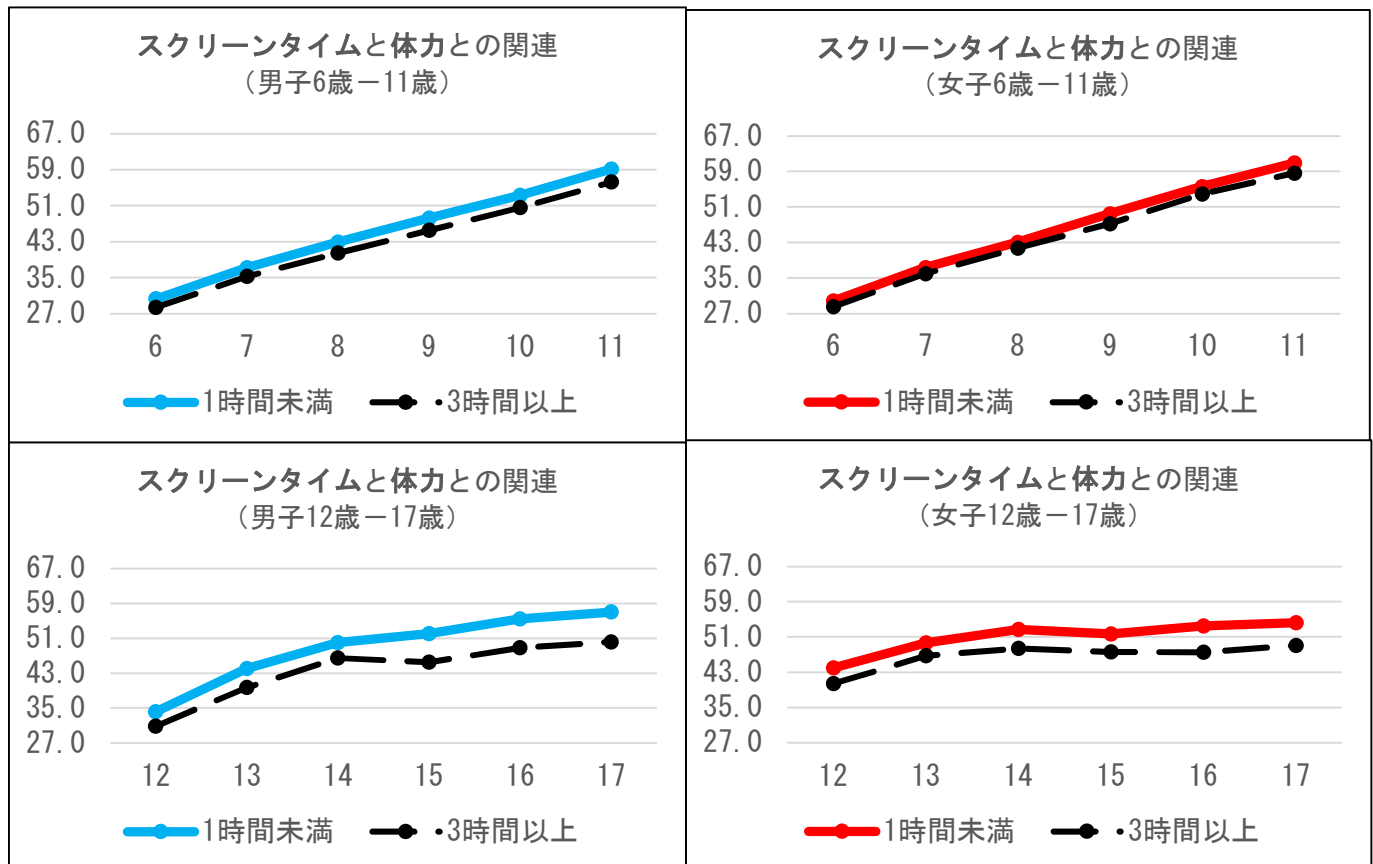
イ 食事（朝食）と体力との関連



ウ 睡眠と体力との関連



エ スクリーンタイムと体力との関連



- 1日の運動・スポーツの実施時間が長い児童生徒や毎日朝食を食べる児童生徒、また1日のスクリーンタイムが短い児童生徒は、体力合計点が高くなっている。
- 1日の睡眠時間については、8時間以上の睡眠時間を確保している児童、6時間以上8時間未満の睡眠時間を確保している生徒は、体力合計点が高くなっている。